

## 令和3年度 学校評価アンケート【まとめ】

質問項目:22項目

(県立高校共通質問 13項目 本校独自質問 9項目)

## 《回収率》

生徒 430名中 406名( 94.4%) 保護者 417名中 352名( 84.4%)  
 教職員 51名中 51名( 100.0%)

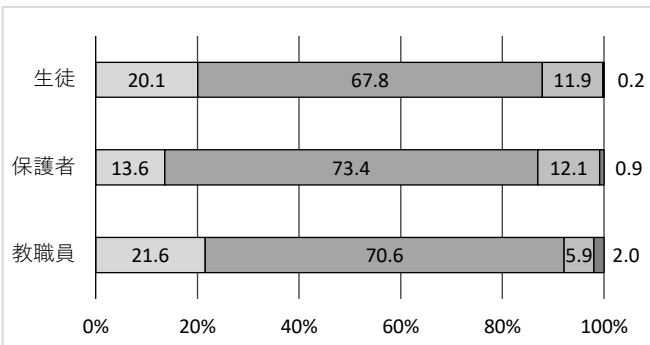
※表の( )内の数字は昨年度のものです。

【評価】 1:よく当てはまる 2:だいたい当てはまる 3:あまり当てはまらない 4:当てはまらない

## [共通質問]

1. お子様の学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている。

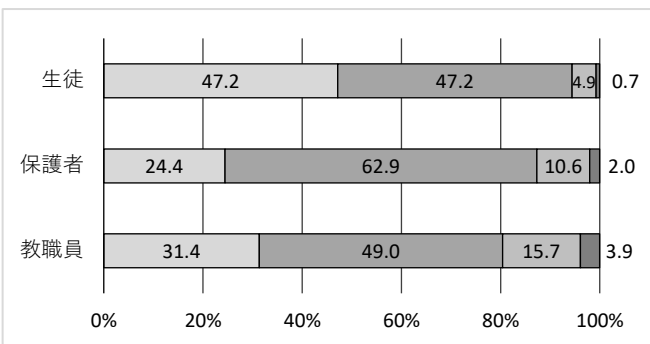
(%)	1	2	3	4
生徒	20.1 (14.7)	67.8 (63.6)	11.9 (19.4)	0.2 (2.2)
保護者	13.6 (9.6)	73.4 (74.7)	12.1 (14.3)	0.9 (1.3)
教職員	21.6 (8.2)	70.6 (83.7)	5.9 (8.2)	2.0 (0)



「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が、生徒は87.9% (78.3%) で9.6ポイント、保護者は87.0% (84.3%) で2.7ポイント、教職員は92.2% (91.9%) で0.3ポイントと、全体的に上昇しています。今後も引き続きより良い授業となるように改善を図っていきたいと思います。

2. 生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。

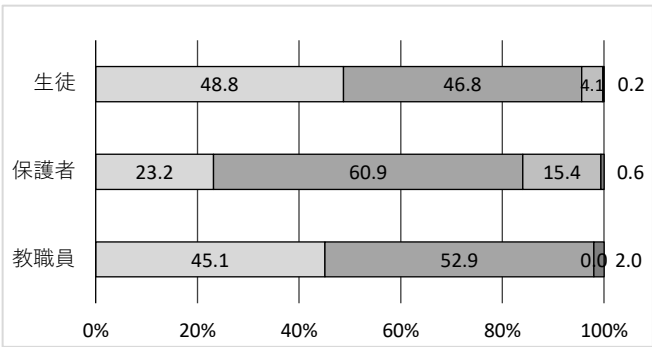
(%)	1	2	3	4
生徒	47.2 (55.4)	47.2 (40.5)	4.9 (3.1)	0.7 (1)
保護者	24.4 (25.4)	62.9 (64.8)	10.6 (8.5)	2.0 (1.3)
教職員	31.4 (20.4)	49.0 (65.3)	15.7 (12.2)	3.9 (2)



すべてのカテゴリーにおいて、高い割合で肯定的な回答をいただきました。しかし、昨年度より否定的な意見が増加しており、「あまり当てはまらない」「あてはまらない」が、教職員では19.6% (14.2%) と5.4ポイント上昇しました。保護者においても12.6% (9.8%)、生徒でも5.6% (4.1%) と教職員と同様の傾向が表れています。しかし、教職員の変化が最も大きく、現状の生徒の生活態度に対して危機感を持っていることの表れと考えられます。

3. お子様の進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

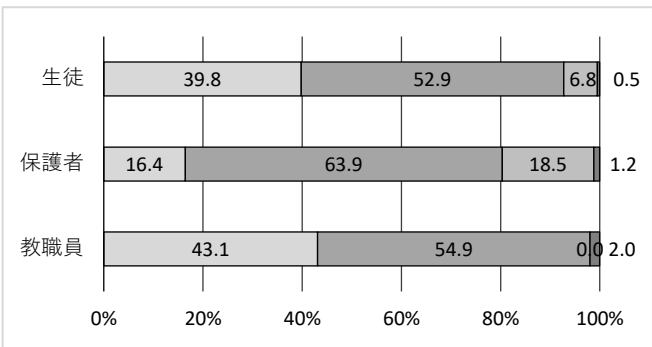
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>48.8</b> (39.2)	<b>46.8</b> (51.8)	<b>4.1</b> (7.8)	<b>0.2</b> (1.2)
保護者	<b>23.2</b> (23.2)	<b>60.9</b> (61.8)	<b>15.4</b> (13.2)	<b>0.6</b> (1.8)
教職員	<b>45.1</b> (32.7)	<b>52.9</b> (65.3)	<b>0.0</b> (2)	<b>2.0</b> (0)



「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が、生徒で95.6% (91.0%)、保護者で84.1% (85.1%)、教職員で98.0% (98.0%)であり、生徒のポイントが上昇しました。今後も更なる進路目標の明確化に向けて努力し、的確な進路の指針を示して進路指導の一層の充実を図っていくとともに、校内での共通理解を図れるよう努力していきたいと思ひます。

4. 生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。

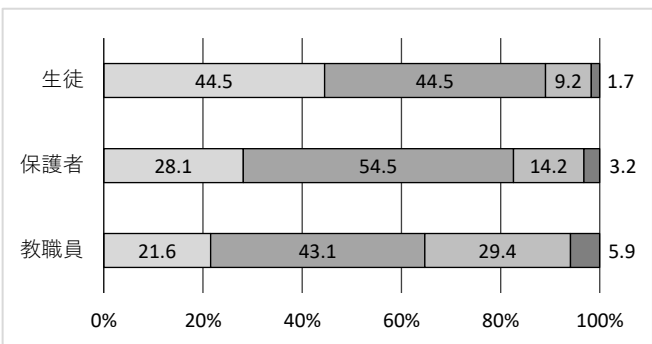
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>39.8</b> (34.9)	<b>52.9</b> (55.5)	<b>6.8</b> (8)	<b>0.5</b> (1.6)
保護者	<b>16.4</b> (15.2)	<b>63.9</b> (61.7)	<b>18.5</b> (21.3)	<b>1.2</b> (1.8)
教職員	<b>43.1</b> (28.6)	<b>54.9</b> (55.1)	<b>0.0</b> (16.3)	<b>2.0</b> (0)



「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が、生徒は92.7% (90.4%)、保護者は80.3% (76.9%)、教職員は98.0% (83.7%)と、すべてのカテゴリーでポイントが上昇しました。今後も、「相談室便り」の発行を継続的に行い、スクールカウンセラー来校日等の広報活動に努め、相談活動の充実・関係各所との連携を図りながら、生徒が心身ともに健全な学校生活を送れるように支援していきたいと思ひます。

5. 学校として、部活動は活発に行われている。

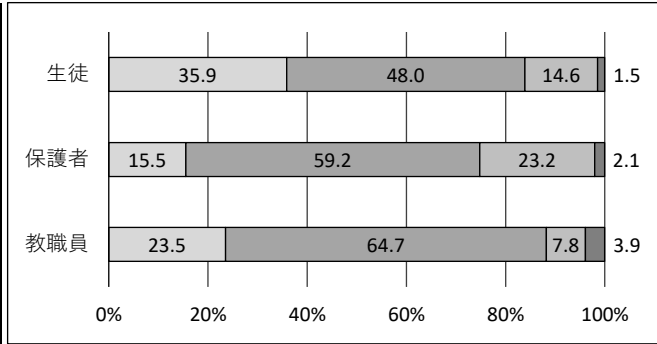
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>44.5</b> (42)	<b>44.5</b> (45.1)	<b>9.2</b> (11)	<b>1.7</b> (1.8)
保護者	<b>28.1</b> (28.7)	<b>54.5</b> (51.6)	<b>14.2</b> (16.9)	<b>3.2</b> (2.9)
教職員	<b>21.6</b> (10.2)	<b>43.1</b> (49)	<b>29.4</b> (32.7)	<b>5.9</b> (8.2)



生徒、保護者とも肯定的回答が80%を超えており、おおむね活発であると捉えていただいておりますが、教職員においては、肯定的回答が64.7% (59.2%)と、その他と比べて著しく低くなっています。生徒数も多く、部活動も活発だった頃を知る教職員にとっては、現状に物足りなさを感じていると思われまますが、生徒と保護者の回答からは、現在の学校規模として適切に部活動が行われていると考えます。

6. 学校として、生徒会活動は活発に行われている。

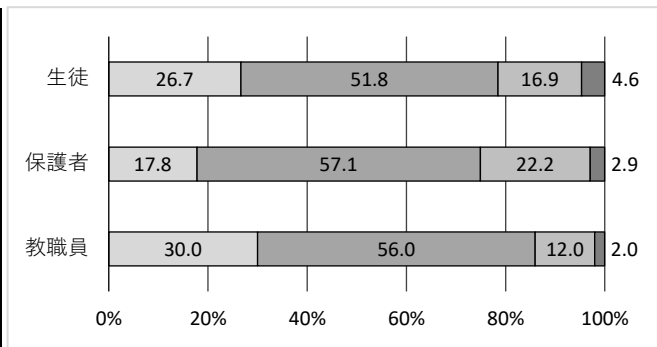
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>35.9</b>	<b>48.0</b>	<b>14.6</b>	<b>1.5</b>
	(21.9)	(59)	(16)	(3.1)
保護者	<b>15.5</b>	<b>59.2</b>	<b>23.2</b>	<b>2.1</b>
	(9.4)	(65.8)	(23.1)	(1.6)
教職員	<b>23.5</b>	<b>64.7</b>	<b>7.8</b>	<b>3.9</b>
	(10.2)	(67.3)	(22.4)	(0)



生徒の肯定的回答は83.9%(80.9%)と増加し、教職員においては88.2%(77.5%)と大きく増加しました。一方で、保護者では74.7%(75.2%)と減少しています。委員会活動の統合などにより活動範囲が大きくなった委員会もあり、一部の委員会では活動が活発化しましたが、そのような状況が保護者にはあまり伝わっていないことが要因の一つだと考えられます。今後、積極的に情報を発信していきたいと思ひます。

7. お子様にとって、有意義な学校行事がある。

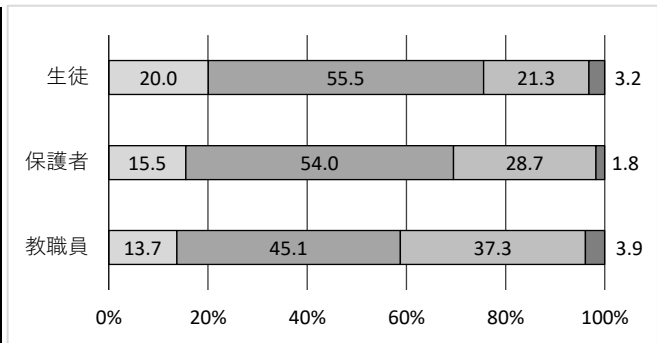
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>26.7</b>	<b>51.8</b>	<b>16.9</b>	<b>4.6</b>
	(21.8)	(48.6)	(23.3)	(6.3)
保護者	<b>17.8</b>	<b>57.1</b>	<b>22.2</b>	<b>2.9</b>
	(14.5)	(49.4)	(30.7)	(5.3)
教職員	<b>30.0</b>	<b>56.0</b>	<b>12.0</b>	<b>2.0</b>
	(12.2)	(63.3)	(24.5)	(0)



すべてのカテゴリーで、肯定的回答が増加しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの学校行事を縮小させなければなりませんでした。今年度は適切な感染症対策を講じることで、制限はあるもののコロナ以前に近い形での学校行事開催ができるようになったことから、肯定的回答が増加したと考えられます。

8. 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。

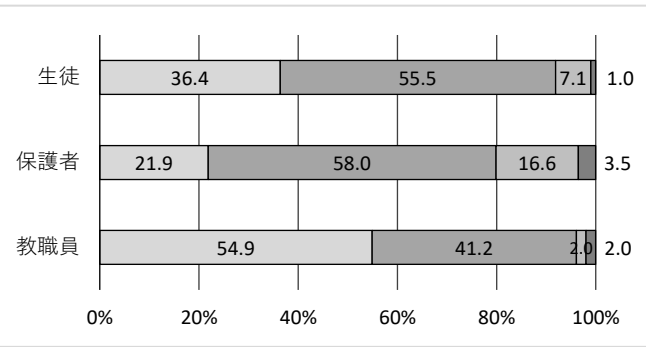
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>20.0</b>	<b>55.5</b>	<b>21.3</b>	<b>3.2</b>
	(16.4)	(53.8)	(25.8)	(4.1)
保護者	<b>15.5</b>	<b>54.0</b>	<b>28.7</b>	<b>1.8</b>
	(14.6)	(55.7)	(26.7)	(2.9)
教職員	<b>13.7</b>	<b>45.1</b>	<b>37.3</b>	<b>3.9</b>
	(12.2)	(51)	(30.6)	(6.1)



「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が、生徒は75.5%(70.2%)で5.3ポイント上昇しましたが、保護者は69.5%(70.3%)で0.8ポイント、教職員は58.8%(63.2%)で4.4ポイントそれぞれ下降しました。今年度百周年記念式典が行われた影響で、生徒にとっては伝統を意識しやすい環境であったことが要因であると考えます。一方、コロナ禍の影響で行事など様々な活動に制限がかかっている面もあり、今後はアフターコロナを見据えた活動について検討するとともに、地域や伝統に根ざした学校づくりへの意識高揚を図りたいと思ひます。

9. 保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

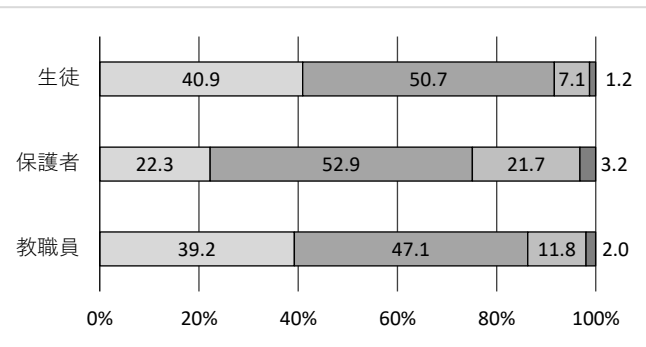
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>36.4</b> (26.6)	<b>55.5</b> (58.7)	<b>7.1</b> (12.3)	<b>1.0</b> (2.5)
保護者	<b>21.9</b> (20.8)	<b>58.0</b> (55.6)	<b>16.6</b> (21.2)	<b>3.5</b> (2.5)
教職員	<b>54.9</b> (20.8)	<b>41.2</b> (55.6)	<b>2.0</b> (21.2)	<b>2.0</b> (2.5)



「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が、生徒は91.9% (85.3%)、保護者は79.9% (76.4%)、教職員は96.1% (76.4%)と、すべてのカテゴリーで上昇しました。生徒、教職員のポイント上昇の要因として、コロナ禍で実施できなかった避難訓練を今年度は春と秋に実施し、それぞれ地震と火災を想定して避難経路を変更するなどの工夫も重ねたことが考えられます。「大商カレンダー」を活用し、家庭内で災害時の対応について連絡方法の確認など話し合っていただけのように、今後も安全に過ごすための情報を発信していきたいと思ひます。

10. 保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。

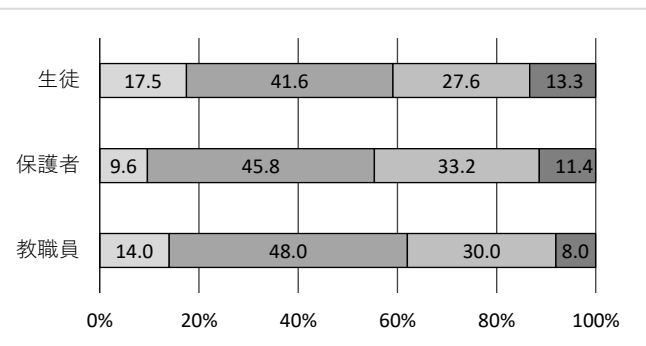
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>40.9</b> (35)	<b>50.7</b> (57.3)	<b>7.1</b> (7.2)	<b>1.2</b> (0.6)
保護者	<b>22.3</b> (19.1)	<b>52.9</b> (58.1)	<b>21.7</b> (20.8)	<b>3.2</b> (2)
教職員	<b>39.2</b> (30.6)	<b>47.1</b> (59.2)	<b>11.8</b> (8.2)	<b>2.0</b> (2)



「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が、生徒は91.6% (92.3%)、保護者は75.2% (77.2%)、教職員は86.3% (89.8%)と、全体的に減少しました。長期休業月の「大商通信」(学校便り)の発行回数を減らした事が要因と考えられます。「大商通信」は発行後に学校HPにも掲載していますが、QRコードを用いてスマートフォン等でも閲覧できることを周知していきたいと思ひます。例年並みに学校行事等を行えるようになりましたので、学校の様子を発信できるよう更なる工夫をしていきたいと思ひます。

11. 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。

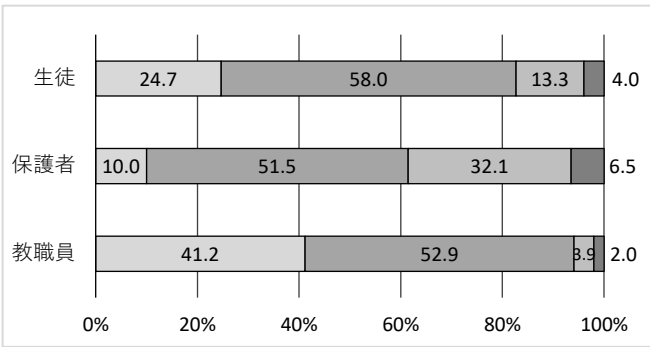
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>17.5</b> (11.8)	<b>41.6</b> (41)	<b>27.6</b> (31.1)	<b>13.3</b> (16.1)
保護者	<b>9.6</b> (6.7)	<b>45.8</b> (35.4)	<b>33.2</b> (41.7)	<b>11.4</b> (16.1)
教職員	<b>14.0</b> (4.1)	<b>48.0</b> (46.9)	<b>30.0</b> (32.7)	<b>8.0</b> (16.3)



「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が、生徒は59.1% (52.8%)で6.3ポイント、保護者は55.4% (42.1%)で13.3ポイント、教職員は62.0% (51.0%)で11.0ポイント、それぞれ上昇しました。普通教室のエアコン設置や女子トイレの洋式化工事、グラウンド整備を実施した結果によると思ひられます。本校は、施設の老朽化に伴い補修が必要とされる箇所も多く不便な面もありますが、今後も県に予算要求しながら適宜環境整備を行いたいと思ひます。

12. 学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている。

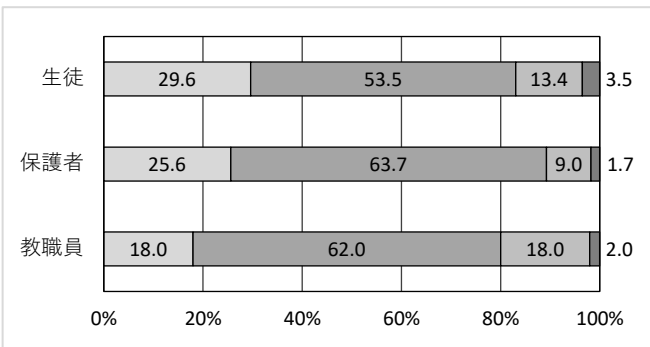
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>24.7</b> (18)	<b>58.0</b> (57)	<b>13.3</b> (19.3)	<b>4.0</b> (5.7)
保護者	<b>10.0</b> (7.8)	<b>51.5</b> (53.8)	<b>32.1</b> (33)	<b>6.5</b> (5.4)
教職員	<b>41.2</b> (26.5)	<b>52.9</b> (63.3)	<b>3.9</b> (8.2)	<b>2.0</b> (2)



「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が、生徒は82.7%(75.0%)、教職員は94.1%(89.8%)と増加しました。これは、毎月実施の学校生活アンケートが校内に定着してきた表れだと考えられます。一方で保護者は肯定的回答がほぼ横ばいであり、校内での取り組みが認知されていない状況にあります。学校生活アンケートは結果を広く公開できる性格のものではありませんが、校内での取り組みについて知ってもらう機会を設けていきたいと思ひます。

13. お子様の学校生活は充実している。

(%)	1	2	3	4
生徒	<b>29.6</b> (25.7)	<b>53.5</b> (51.8)	<b>13.4</b> (17.8)	<b>3.5</b> (4.7)
保護者	<b>25.6</b> (25.7)	<b>63.7</b> (60.8)	<b>9.0</b> (12)	<b>1.7</b> (1.6)
教職員	<b>18.0</b> (4.1)	<b>62.0</b> (77.6)	<b>18.0</b> (16.3)	<b>2.0</b> (2)

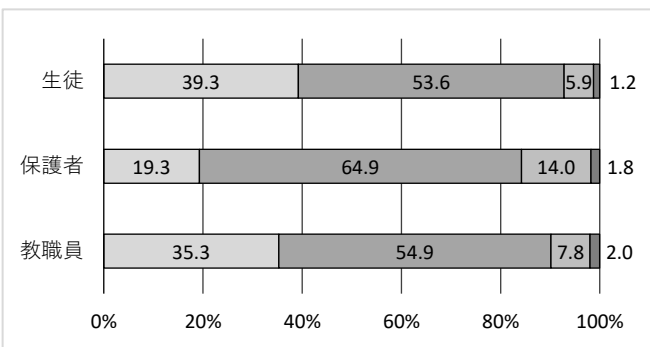


「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が、生徒は83.1%(77.5%)で5.6ポイント、保護者は89.3%(86.5%)で2.8ポイント上昇しましたが、教職員は80.0%(81.7%)で1.7ポイント下降しました。昨年度はコロナ禍で行事や日常生活に制限が多かったのに対して、今年度は行事などが例年に近い形で実施できており、まだ制限はあるものの通常の学校生活に戻つつあることが評価されたものと考えます。今後も状況を見ながら、より充実した学校生活となるよう取り組んでいきたいと思ひます。

[独自質問]

1. 学校は、学習評価の仕方や進級・卒業の認定条件について、分かりやすく説明している。

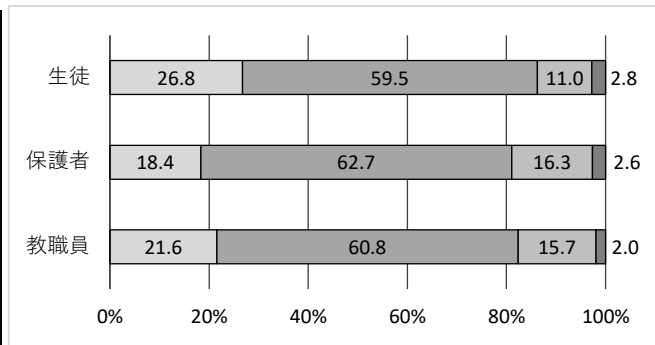
(%)	1	2	3	4
生徒	<b>39.3</b> (35)	<b>53.6</b> (56.2)	<b>5.9</b> (8)	<b>1.2</b> (0.8)
保護者	<b>19.3</b> (18.1)	<b>64.9</b> (62.7)	<b>14.0</b> (16.7)	<b>1.8</b> (2.5)
教職員	<b>35.3</b> (14.3)	<b>54.9</b> (65.3)	<b>7.8</b> (16.3)	<b>2.0</b> (4.1)



「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が、生徒は92.9%(91.2%)で1.7ポイント、保護者は84.2%(80.8%)で3.4ポイント、教職員は90.2%(79.6%)で10.6ポイントと、全体的に上昇しました。教職員の肯定的な回答が上昇した要因としては昨年度に実施した評価方法の改訂が教職員に定着し、学習評価が改善されたことが挙げられ、その結果が生徒、保護者のポイントの上昇にもつながったと推測されます。今後も適切な評価ができるよう努力していきたいと思ひます。

2. 学校は、生徒をよく理解して、適切な学習指導を行っている。

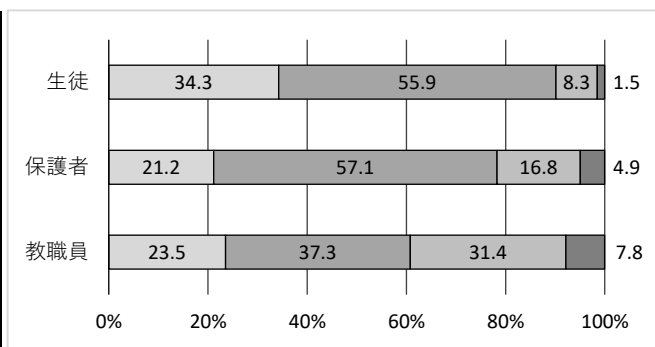
(%)	1	2	3	4
生徒	26.8	59.5	11.0	2.8
保護者	18.4	62.7	16.3	2.6
教職員	21.6	60.8	15.7	2.0



「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が、生徒は86.3%、保護者は81.1%、教職員は82.4%でした。今年度は、昨年度の質問項目を学習指導に絞った設問に改めました。昨年度の結果と比較はできませんが、今後とも授業を含めた学習活動全般について、よりよいものとなるように学校全体を挙げて学習指導の改善に取り組んで参りたいと思います。

3. 本校生は、挨拶をきちんとしている。

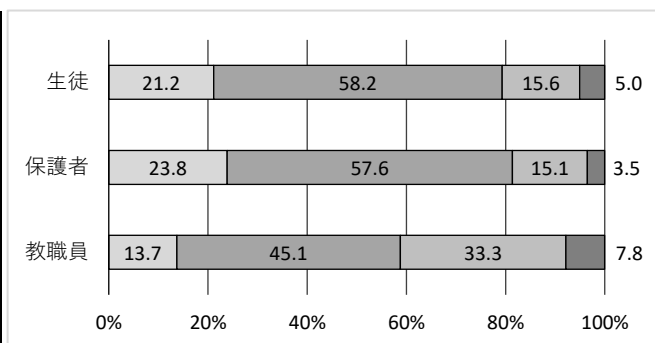
(%)	1	2	3	4
生徒	34.3	55.9	8.3	1.5
保護者	21.2	57.1	16.8	4.9
教職員	23.5	37.3	31.4	7.8



「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が、生徒は90.2% (87.7%)、保護者は78.3% (75.1%)、教職員は60.8% (55.1%)と、生徒と教職員の間には大きな認識のズレが生じています。高校卒業後すぐに社会人となる生徒が多い本校において、教職員が生徒の挨拶について厳しい目で見ていることの表れだと考えられます。また、昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により声を出しての挨拶ができませんでしたが、今年度は感染対策によって元気に挨拶できる環境が整い始めたことで、すべてのカテゴリーで肯定的回答が増加したと思います。

4. 本校生は、高校生としてふさわしい服装や頭髪等の身だしなみが身に付いている。

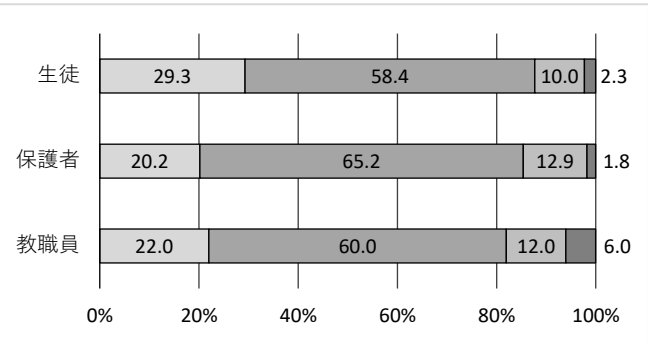
(%)	1	2	3	4
生徒	21.2	58.2	15.6	5.0
保護者	23.8	57.6	15.1	3.5
教職員	13.7	45.1	33.3	7.8



「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が、生徒では79.4% (88.4%)、保護者では81.4% (87.3%)、教職員では58.8% (79.6%)と減少し、特に、教職員の減少が顕著でした。今年度は、会議等でも身だしなみへの指導が議題にあがることが多く、教職員の意識の高まりが影響したものと思います。生徒においても、今年度から始まった“朝のマナーアップ指導”など、昨年度よりも指導機会が増えたことで、より一層自らの身だしなみに対して厳しい目でみるようになったと思われます。

5. 学校は、スマートフォン等の適切な使用について指導を行っている。

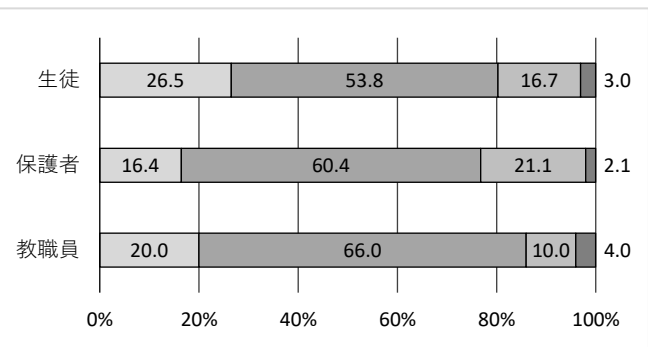
(%)	1	2	3	4
生徒	29.3 (32.9)	58.4 (56.9)	10.0 (8.8)	2.3 (1.4)
保護者	20.2 (18.9)	65.2 (65.8)	12.9 (13.7)	1.8 (1.6)
教職員	22.0 (18.4)	60.0 (71.4)	12.0 (8.2)	6.0 (2)



「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が、生徒で87.7% (89.8%)、保護者で85.4% (84.7%)、教職員で82.0% (89.8%)と、生徒と教職員で減少しました。コロナ禍のオンライン学習等の導入により、学校生活においても個人のスマートフォンを使わざるを得ない場面が増加しており、現状のルールでは、指導の徹底は難しいと感じている教職員が増えていると考えられます。新時代のルール作りを急ぐ等、現状に即した指導等のあり方を検討する必要があります。

6. 学校は、自転車やバイク等の安全教育に取り組んでいる。

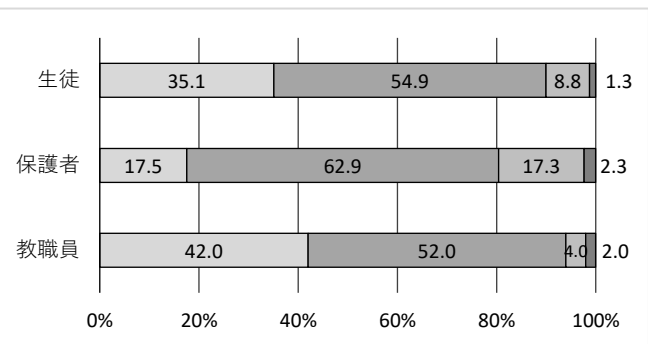
(%)	1	2	3	4
生徒	26.5 (22.1)	53.8 (57.7)	16.7 (17.4)	3.0 (2.9)
保護者	16.4 (15.3)	60.4 (66)	21.1 (16.9)	2.1 (1.8)
教職員	20.0 (20.4)	66.0 (65.3)	10.0 (12.2)	4.0 (2)



「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が、生徒で80.3% (89.8%)、保護者で76.8% (81.3%)、教職員で86.0% (85.7%)と、すべてのカテゴリーでほぼ横ばいでした。年々、本校の自転車登校数は減少し、直近2年間でのバイク通学者は阿武隈急行特例を除き0名ですが、県内では高校生が犠牲となる交通死亡事故も発生しています。通学利用に限らず、登下校全般の安全教育について取り組んでいきたいと思ひます。

7. 学校は、生徒に適した進路情報を提供し、生徒の可能性を引き出そうとしている。

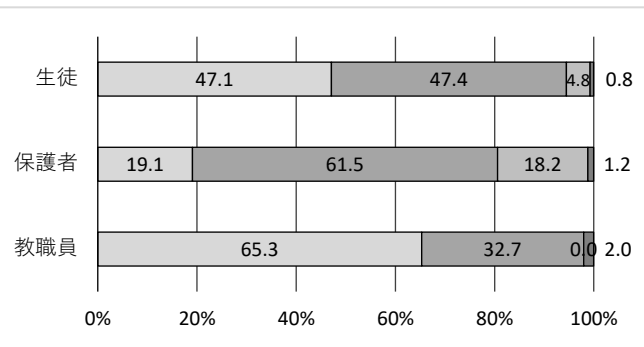
(%)	1	2	3	4
生徒	35.1 (25.2)	54.9 (56)	8.8 (16.2)	1.3 (2.7)
保護者	17.5 (18.3)	62.9 (61.6)	17.3 (17.9)	2.3 (2.2)
教職員	42.0 (28.6)	52.0 (59.2)	4.0 (12.2)	2.0 (0)



「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が生徒で90.0% (81.2%)、保護者で80.4% (79.9%)、教職員で94.0% (87.8%)と、すべてのカテゴリーでポイントが上昇しました。今後も、進路希望調査を定期的に行い、生徒及び保護者が求める適切な進路情報の提供や学年団と連携した進路指導を心がけていきたいと思ひます。

8. 学校は、職業観・勤労観などの育成を図るため、外部講師による進路講話や進路セミナーなどの進路行事を企画し、キャリア教育を積極的に推進している。

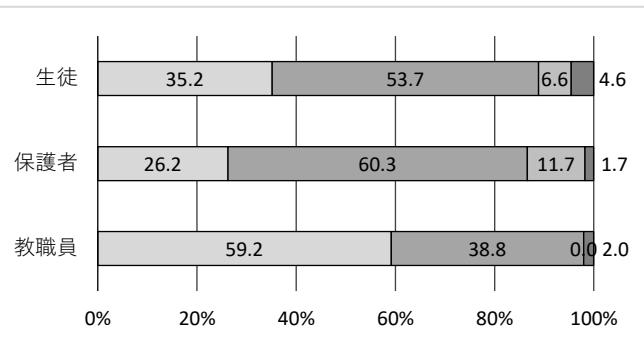
(%)	1	2	3	4
生徒	47.1 (28.9)	47.4 (56.8)	4.8 (12.1)	0.8 (2.3)
保護者	19.1 (14.8)	61.5 (61.2)	18.2 (22.6)	1.2 (1.3)
教職員	65.3 (26.5)	32.7 (61.2)	0.0 (12.2)	2.0 (0)



「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が生徒で94.5% (85.7%)、保護者で80.6% (76.0%)、教職員で98.0% (87.7%)でした。今年度は、外部講師を招いてのガイダンスを充実させ、その中でも3学年においては、外部講師による模擬面接を1週間連続して実施するなど、新たな取り組みを行い、就職内定率も前年より好調に推移しております。また、進路講話の講師は、全国各地で講演を行っている方を招き、本校生徒にマッチングした講話を行うことができました。今後も社会で活躍できる人材育成のため、更なる職業観や勤労観を育成していきたいと思っております。

9. 学校は、感染症の感染予防に取り組んでいる。

(%)	1	2	3	4
生徒	35.2	53.7	6.6	4.6
保護者	26.2	60.3	11.7	1.7
教職員	59.2	38.8	0.0	2.0



初めての質問項目でした。「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」が、生徒は88.9%、保護者86.5%、教職員98.0%と高い割合になりました。これまで、感染リスクを排除した授業、休み時間の過ごし方、黙食の呼びかけ、ポスターの教室掲示など、校内で感染が拡大しないよう取り組んできましたが、さらに、すべての教室にCO2モニターを設置しました。今後も、新型コロナウイルス感染症の第6波に備え、対策を強化していきたいと思っております。